

第35回日本環境動物昆虫学会市民公開シンポジウム

「小笠原諸島における生物多様性と固有種の保全」

【内容】

- ・ 外来種の影響と固有種の保全
- ・ 小笠原独自の植物の進化と花粉媒介者
- ・ 小蛾類の未知の多様性と型破りな適応



総合司会：広渡俊哉（九州大学大学院農学研究院）

「小笠原諸島の固有種保全対策の最前線」

～とくにオガサワラハンミョウ保護増殖とグリーンアノール防除対策について～

山本捺由他（環境省小笠原自然保護官事務所）

「小笠原固有チョウ類の現状とその保全」

矢後勝也（東京大学総合研究博物館）他

「小笠原諸島の花の独自性と花粉媒介者との相互作用」

川北 篤（東京大学大学院理学系研究科附属植物園）

「小笠原諸島における潜葉性・腐食性小蛾類を中心とした未知の多様性」

広渡俊哉・屋宜禎央（九州大学大学院農学研究院）

「固有すぎる固有種たち：型破りなホソガ科の蛾類が教えてくれる小笠原の特殊性」

大島一正（京都府立大学大学院生命環境科学研究科）

日時：2023年11月26日（日）13:00～16:30

会場：九州大学伊都キャンパスウエスト5号館232室＊

＊Zoomによるオンライン配信も同時開催

<https://us04web.zoom.us/j/78203334124?pwd=JgbloZbSmBqNRJBfMI9eVaURIayWDo.1>

（事前申し込み不要、参加費無料。詳しくは日本環境動物昆虫学会のHP参照）

お問合せ先：092-802-4572

